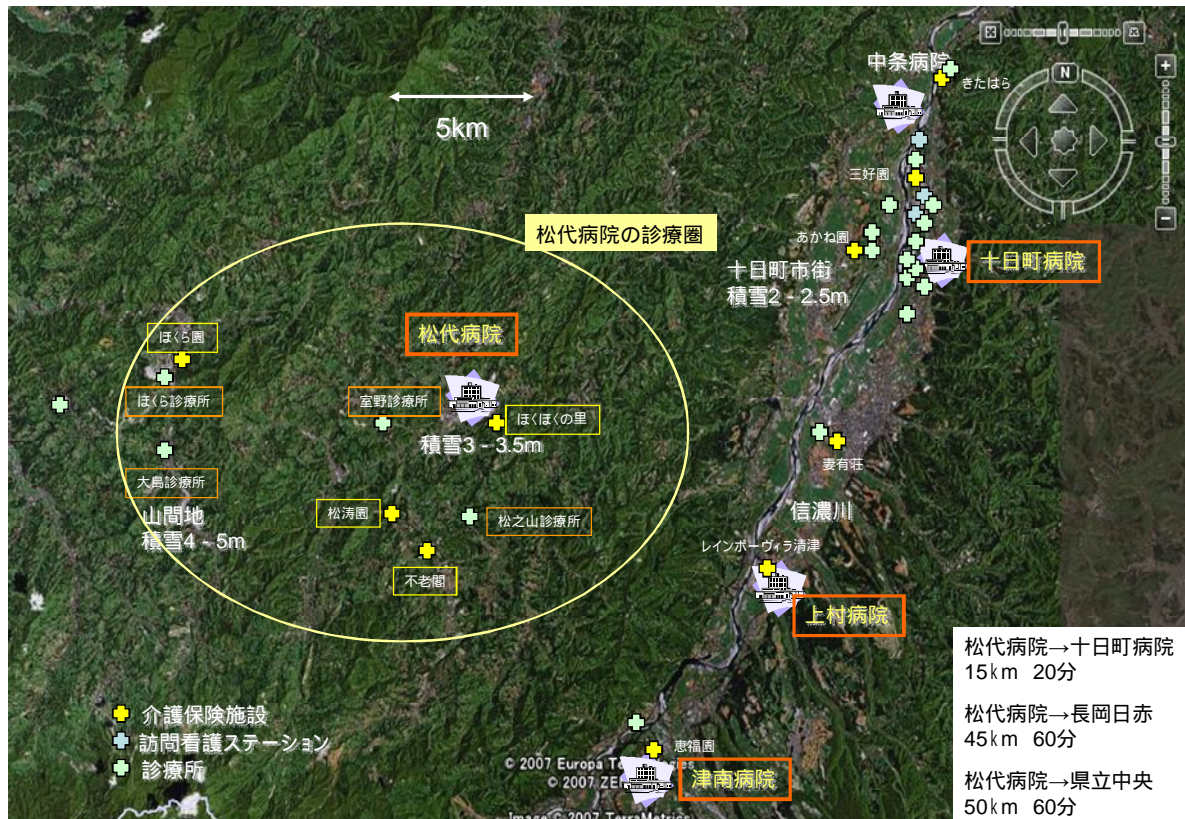


地域医療のものがたり

松代・松之山地域の医療の現状と今後の課題

2008/3/31

松代病院 布施克也



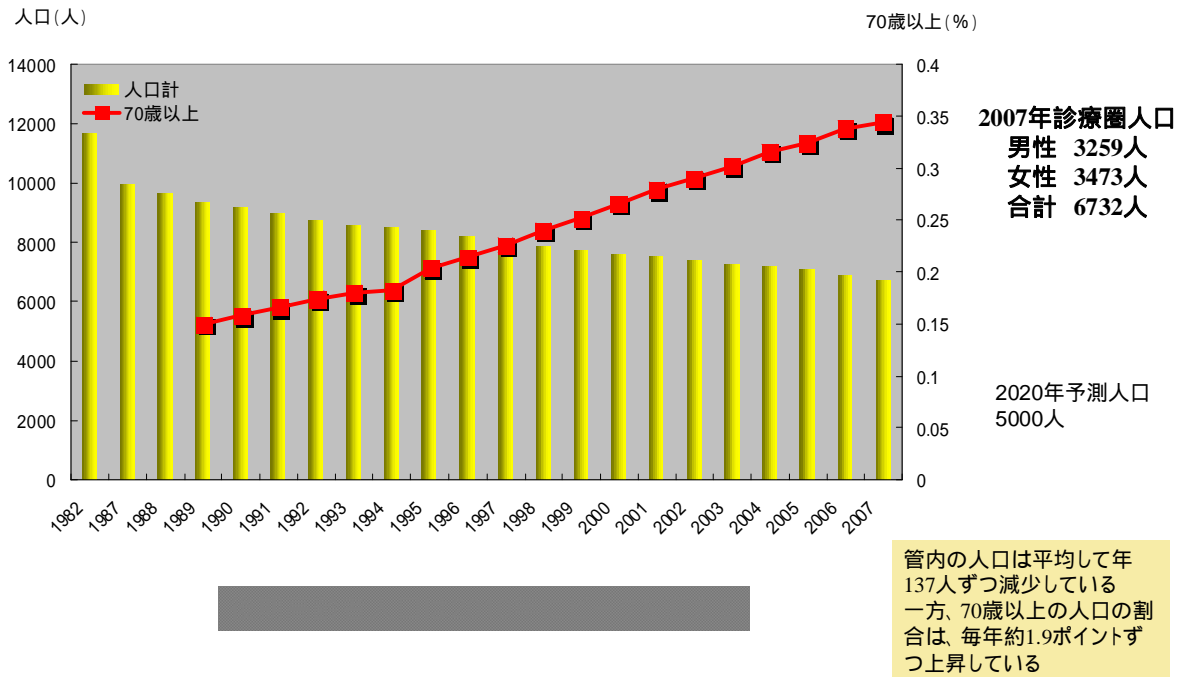
松代病院のおかれている地理的・行政的背景について

松代・松之山地区は新潟県南西部、標高 150m ~ 600m の東頸城丘陵地帯に位置する、新潟県内屈指の豪雪地帯 (2006 年 2 月 323cm の積雪量) で、地域の全域が過疎地域自立促進対策法に基づく「過疎地域」および豪雪地帯対策特別措置法に基づく「特別豪雪地帯」に指定されており、2005 年 4 月 1 日松代町・松之山町・十日町等の 5 市町村による合併実施により、十日町市の一部となった。当院は当該地域における唯一の病院として、医療水準の確保に努めており、また特養・老健施設の協力病院として老人福祉への協力 (特養 3 施設、老健 1 施設) など、地域の保健福祉活動に貢献している。

地域内の他の医療機関は国保松之山・室野診療所の 2 診療所のみ (うち国保室野診療所は毎週火曜・木曜日のみ診療) であり、外来診療・訪問診療をこれらの医療機関と協力して行っている。なお 2002 年 3 月 開業医廃院により、民間医療機関は当該地域にはない。へき地不採算地区での医療活動に対して、県の一般会計から繰入がなされているが、これまで総務省基準上の不採算地区病院であり、交付税措置があったものが、市町村合併により非該当化し (合併後 3 年間の経過措置期間中)、県の直接の負担になっている。

当地区から高度医療病院までの距離は、十日町病院まで 15km・20 分、長岡地区まで 45km・60 分、上越地区まで 50km・60 分などとなっている。

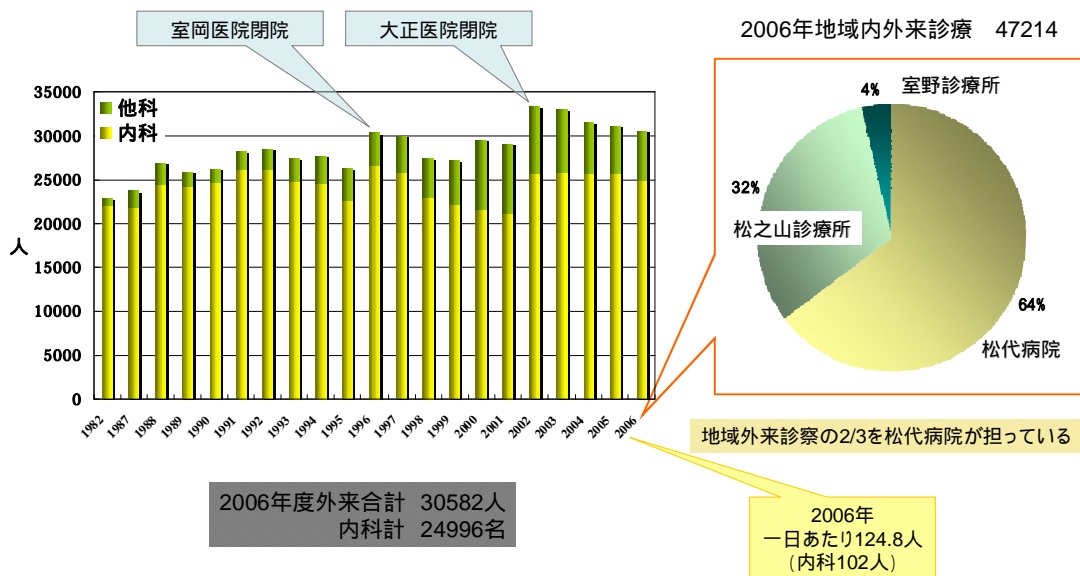
松代・松之山地区の人口推移



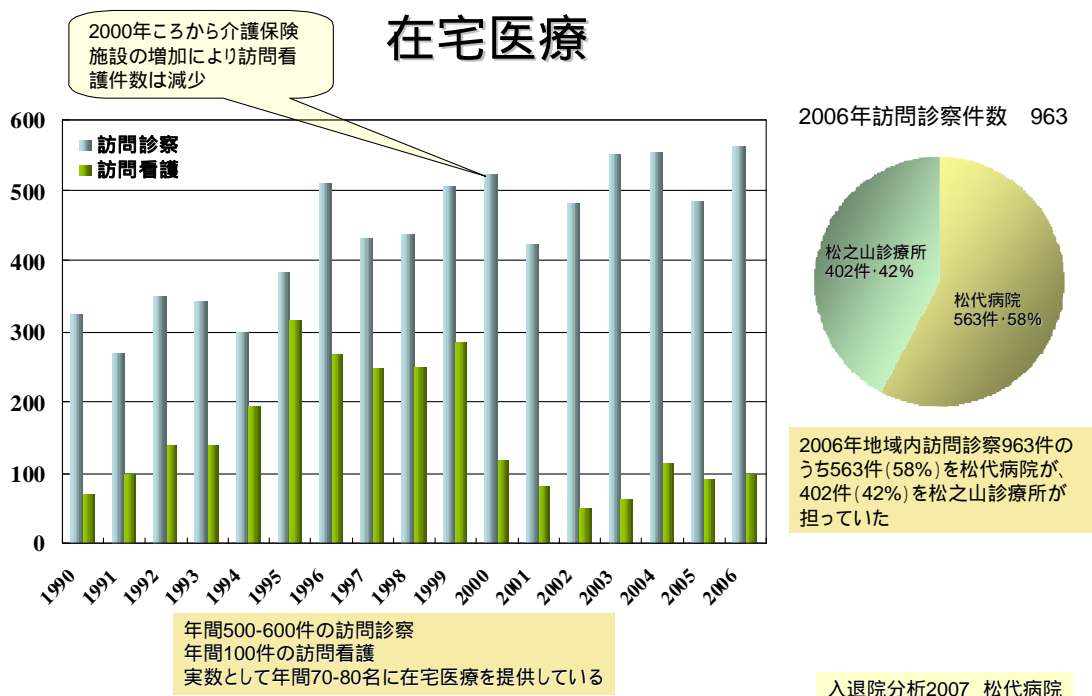
松代・松之山地区の人口の推移

2007年の診療圏内人口は男性 3259人・女性 3473人の計 6732人で 25年前から半減しており、年間 137人ずつ人口が減少している(死亡 100-120人、出生 20-30人、転出等で 30-50人)。また圏域内の高齢化率は約 40%(松代 39%・松之山 41%)であり、70歳以上の占める割合も 35%に達し、この割合は毎年 1.9ポイントずつ上昇している。これらの変化は今後も同様に推移すると予想されているため、地域の人口は 2020年に 5000人を割り込み、医療機関の主たる顧客である後期高齢者人口も 2010年にピークを超えることが推計されている。

松代地域外来患者数の推移



在宅医療

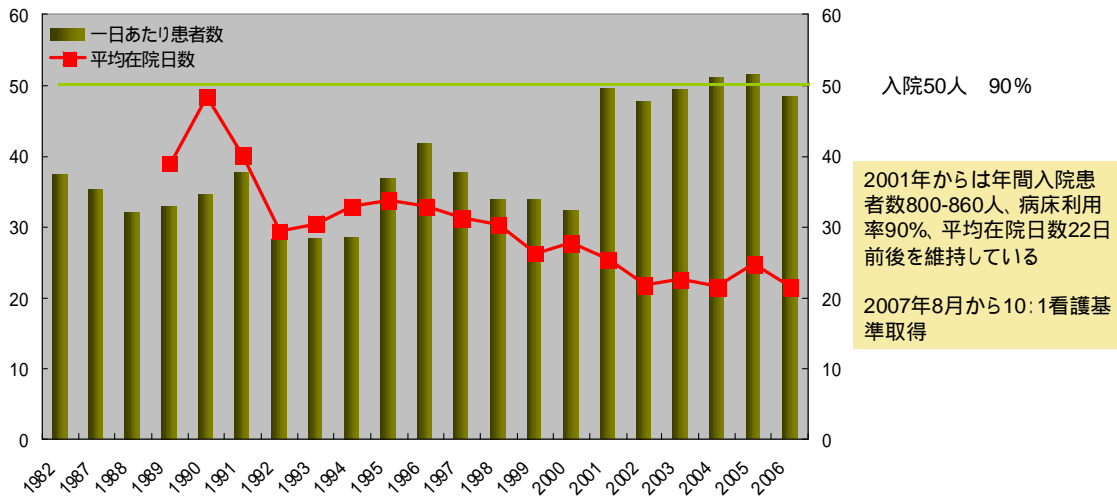


外来診療・在宅医療

1998年と2002年に既存の民間診療所が閉鎖したため、当地区には常設の外来診療室が当院と松之山診療所、および週二回の室野診療所のみとなった。2006年には地域内外来診療は47214回行われ、その64%が松代病院で、32%が松之山診療所、4%が室野診療所で提供された。また、訪問診療は2006年度963回行われたが、563回58%が松代病院から、402回42%が松之山診療所から提供された。松代病院外来と松之山診療所で当地区の外来・訪問医療のほぼすべてを提供している。

一日患者数と平均在院日数

2006年度一日患者数 48.4人
平均在院日数 21.5日

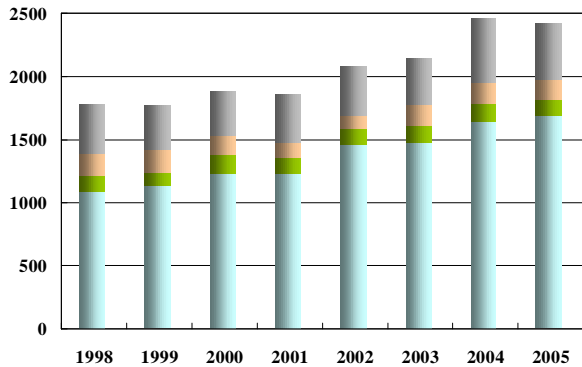


入院診療

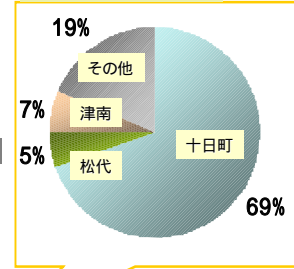
当地区唯一の入院施設として2006年は年間860人の入院を受け入れた。2001年度から「地域で発生した急性期疾患の初期医療は当院が担う」と方針転換してからは、病床利用率は概ね90%程度で推移している。在院日数は21-22日になっているが、約52%は2週間以内で退院し、80%は一ヶ月以内で退院しており、基本入院機能は急性期病床である。いっぽう1-3ヶ月の入院患者が17%いるが、これは当院入院患者が高齢で要介護者が多いこと、亜急性期退院調整入院も担っていることによる。入院患者の年齢分布は多彩で、6歳から108歳にわたり、もっとも大きな階級は80歳以上の群で46%を占め、70歳代の33%を上回る。平均年齢は74歳である。

入院疾病の内訳を見てみると、県立病院全体の入院疾病分布に比べ、感染症の割合が大きく、新生物の割合が小さい。また、呼吸器・循環器疾患の割合も相対的に大きく、高齢者主体の内科診療を行っていることを示している。単一病名では「肺炎」が16%で最も多く、以下「胃腸炎」「糖尿病」「肺がん」「脳梗塞」「急性気管支炎」「うつ」などと続き、発生頻度の高いコモンドিজーズを中心にプライマリケアを担っていることが示されている。

十日町管内の救急車搬送数の推移 1998-2005



2005年搬送先医療機関



年間平均2400台の救急車が地域内の各病院へ向かっている

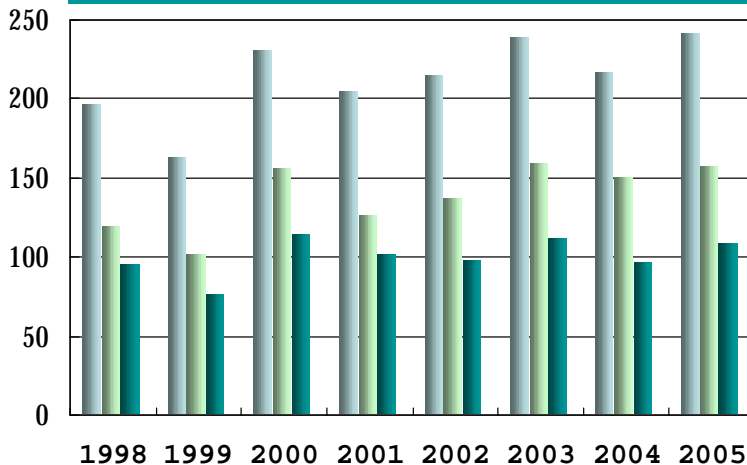
搬送先病院は	
十日町	69.6%
松代	5.3%
津南	6.6%
その他	18.5%

消防年報 十日町市地域消防本部

A 松代松之山地区で一年間に交通事故・負傷・急性疾病で出動した救急件

B そのうち一年間に(非外傷性)急性疾病で出動した救急件数

C そのうち一年間に松代病院へ搬入された救急件数



C/A 0.45-0.48
C/B 0.65-0.80

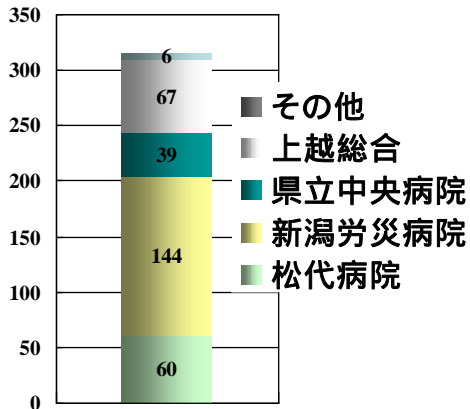
消防年報 十日町市地域消防本部

救急

十日町圏域内では年間 2400 件の救急車が発動する。そのうち松代病院へ着車、あるいは松代病院から発車するのは 5.3%であるが、松代・松之山地区への救急発動は年間 200-220 件、このうち交通外傷等で外科施設へ直行するものを除いた一般(非外傷性)急性疾病が 140-150 件であり、そのうちの 90-100 件が松代病院へ搬送されていた。圏域への発動件数全体の 45-48%、一般急性疾病に対する発動の 65-80%を受け入れている計算になる。また外科処置・高度医療・集中処置必要例などに対し救急車を使った緊急搬送を年間 50-80 件行っており、その 70-80%は十日町病院へ搬送している。いっぽう年間 20-40 件の救急搬送を受け入れており、これは重傷者の退院調整・終末期管理のための転院を目的としている。

大島診療所発紹介状件数2006

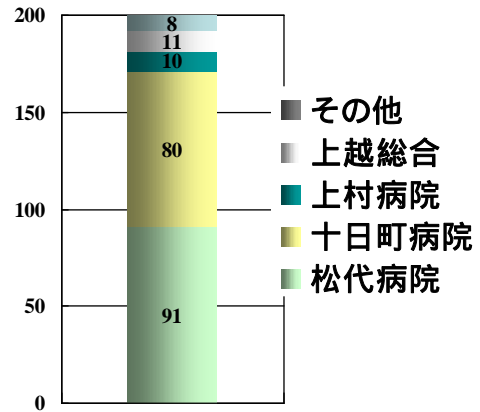
年間紹介状316件 うち松代病院へ60件(19%)



CT 2例
内視鏡 19例
患者紹介 60例

松之山診療所発紹介状件数2006

年間紹介状200件 うち松代病院へ91件(46%)



CT 35例
患者紹介 91例

松代病院は旧東頸城管内の唯一の入院可能施設として、また CT や内視鏡検査など二次検診可能施設として圏域内の診療所や施設との連携を担っているが、主たる二つの診療所（上越市立大島診療所と十日町市立松之山診療所）からの紹介は 2006 年度では年間 151 件であった。大島診療所にとっては全紹介数 316 件のうち 60 件（19%）が松代病院への紹介であり、松之山診療所からの紹介状 200 通のうち 91 通（46%）は松代病院への紹介状であった。いっぽう、松代病院からは高度診断機器利用と専門診療科診察を目的に主として十日町病院へ 2006 年度 369 件（CT/MRI 51 件、診察 318 件）紹介している。診療科別では外科 69 例・整形外科 80 例・眼科 50 例・脳外科 37 例・内科 40 例・耳鼻咽喉科 16 例であった。